

総合計画審議会計画策定専門部会（1月26日（木））の意見と対応

NO	委員名	区分	該当項目	頁	意見	対応
1	中村委員	基本構想	政策展開の基本的視点	13	(6)豊かさの質的充実を支援しますに「ユニバーサルデザインの考え方を踏まえるとともに」という記述があるが、前後の文章との関係が分かりにくい。また、「 <u>ユニバーサルデザイン</u> 」という言葉自体を使わなくなってきたため、表現を検討した方がよいのではないか。	ユニバーサルデザインについては、県として「ユニバーサルデザイン推進指針」を策定しており、まちづくりやしくみづくりに当たっての基本的な考え方としていますが、この記述については表現が分かりにくくなっているため、ご意見を踏まえ、「 <u>ユニバーサルデザインの考え方を踏まえたまちづくり～中略～を進めます。</u> 」と修正しました。
2	中村委員 鈴木部会長	基本構想	2 政策分野別の基本方向 (4)健康・福祉	20	ユニバーサルデザインに関する記述が、移動手段についてのみを指すような記述となっているほか、同ページにある「 <u>高齢者を標準とする社会づくり</u> 」の理念と「 <u>ユニバーサルデザイン</u> 」の考え方は矛盾するのではないか。	県ではユニバーサルデザインの考え方に基づくまちづくりやしくみづくりなどに取り組んでいるため、ご意見を踏まえ、「 <u>あらゆる人が利用できる</u> 」はじめから考えてデザインするユニバーサルデザインの考え方に基づき、誰もが自らの意思で自由に移動し、社会に参加することができるとまちづくりを進めます。」と修正しました。 また、高齢者を標準とする社会づくりを「 <u>高齢者を標準とするしくみづくり</u> 」と修正し、記述についても「 <u>神奈川の人口ピラミッドが示す高齢者の急速な増加に対応するため</u> 」と修正しました。
3	山本委員	実施計画 プロジェクト編	凡例	7	プロジェクトの主な取組みに示されている実施主体に「民間」とあるが、 <u>この中に何が含まれているのか</u> が分かりづらいため、説明を加えた方がよいのではないか。	ご意見を踏まえ、凡例のページの説明を「民間とは、NPO、企業、諸団体などを含む組織を指し、団体名を記載する場合は略称で記載しています。」と修正しました。
4	齋藤委員	実施計画 プロジェクト編	プロジェクト6 高齢者が生き生きとくらす社会づくり	18	「 <u>高齢者の健康・生きがいがづくりの推進</u> 」という表現は、上から見た表現で違和感がある。	「 <u>生きがいがづくりの推進</u> 」は、高齢者自らが取り組むことを県としても推進していくという趣旨で使っていますが、ご意見を踏まえ、「 <u>高齢者の健康・生きがいがづくり</u> 」と修正しました。
5	藤井委員	実施計画 プロジェクト編	プロジェクト12 健康で豊かな人生を築くスポーツ振興	24	前回の総合計画審議会で「 <u>スポーツ振興をやる必要はない</u> 」といったような意見があったが、 <u>スポーツは健康作りに役立ち、結果として医療費の削減などにもつながるため、そうした誤解を受けないように説明した方がよい</u> のではないか。	スポーツ振興は、行政の役割として国の指針においても定められていますが、ご意見を踏まえ、プロジェクト12のねらいの表現に「 <u>人々が心身ともに健康で～中略～心豊かな人生を築くための重要な役割を果たしています</u> 」と修正しました。

NO	委員名	区分	該当項目	頁	意見	対応
6	齋藤委員	実施計画 プロジェクト編	柱Ⅳ 次世代を担う心豊かな人づくり	25	いのちとマグネットの視点に「社会全体で協力し、県民総力戦で子どもを“育む”」とあるが、 <u>総力戦という言葉は、戦争などで用いられるため、総合計画で用いることには違和感があり、なおかつ、子どもを育むということにつなげることは問題がある。</u>	「県民総力戦」は、県民、NPO、企業、団体、市町村など神奈川の総力を結集し、ともに創ることを意味して、基本構想でも神奈川の将来像として掲げていますが、ご意見を踏まえ、「 社会みんなで協力し、子どもを“育む” 」と修正しました。
7	青木委員 齋藤委員 土井委員	実施計画 主要施策・計画推進編	数値目標 プロジェクト5 犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり	68	目標の「 <u>犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること</u> 」に関する <u>県民意識の向上について</u> 、22.3%を27%に向上する目標となっているが、20%台というのは満足ではなく不満足と捉えた方がよい数字で、むしろマイナスのイメージを与えてしまうので、 <u>刑法犯認知件数や検挙率</u> など他の目標の方がよいのではない <u>か。</u>	過去の実施計画では、「刑法犯認知件数」や「刑法犯検挙率」などを目標としていましたが、近年の県警の努力により大幅に数値が改善し、これ以上の改善が困難であるためこうした目標値を設定しましたが、ご意見を踏まえ、 目標の説明に「刑法犯認知件数を減少させるとともに」と追記 しました。
8	青木委員 齋藤委員	実施計画 主要施策・計画推進編	数値目標 プロジェクト6 高齢者が生き生きとくらす社会づくり	69	プロジェクト名が高齢者が生き生きとくらす社会づくりとなっているにもかかわらず、目標は地域包括支援センターの設置や老人ホームの整備など、高齢者を保護の対象として捉える視点になっているのではない <u>か。</u> もっと、 <u>高齢者の経験や知識を生かして社会参画するという視点</u> での目標は設定できない <u>か。</u>	高齢者の経験を生かした就業の支援やボランティア活動などの社会参画の促進などの取組みは、プロジェクトに位置づけていますが、ご意見を踏まえ、 高齢者の日ごろの文化・スポーツ活動の成果を発表する大会である「ゆめかながわシニアフェスタ」への参加者数を目標に追加 しました。
9	三井委員	実施計画 主要施策・計画推進編	数値目標 プロジェクト25 神奈川を世界にアピールする国際戦略	77	<u>外部からの新たな研究開発受注品目数という目標は、最終年度だけに10件という目標設定となっているが、目標として意味があるのか。</u>	この目標値については、国から指定を受けた京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区における取組についての目標値として設定したものであるため、ご意見を踏まえ、 目標の説明を補足し「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区において、」と追記 しました。